

「海老名市立小中学校修学旅行の今後の在り方について」

報告書

令和2年3月

海老名市修学旅行検討委員会



# 目 次

はじめに .....	1
1 海老名市修学旅行検討委員会について	
1-1 検討委員会の目的 .....	2
1-2 検討委員会の構成 .....	2
1-3 検討の経過 .....	2
2 小中学校修学旅行の現状と課題	
2-1 小中学校修学旅行の現状 .....	8
2-2 小中学校修学旅行のアンケート調査結果 .....	10
2-3 旅行者からのヒアリング内容 .....	19
2-4 小中学校修学旅行における課題 .....	20
3 小中学校修学旅行についての提言	
3-1 【提言①】 今後の修学旅行の在り方について .....	21
3-2 【提言②】 修学旅行にかかる保護者負担経費について .....	22
おわりに .....	23

## はじめに

修学旅行は、文部科学省の定める学習指導要領（平成 29 年告示）の特別活動において、「遠足・集団宿泊的行事」（小学校）、「旅行・集団宿泊的行事」（中学校）として位置付けられる教育課程内の活動であり、そのねらいは、「平素とは異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについて体験を積むことができるようにすること。」と定められている。

このように、修学旅行では、校外における共通の集団体験活動を通して、教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを深め、互いを思いやり、共に協力し合い、楽しい思い出をつくることのできる貴重な機会となる。また、この思い出は一生の財産となり、年を重ねても子どもたちの心に深く刻まれるものである。

さらに、近年、よりよい人間関係を形成する態度の醸成や自己肯定感の向上など、修学旅行における教育的な意義が求められるとともに、高い教育効果が期待されているところである。また、決して安価ではない旅行費用に対して、費用相当の有意義な修学旅行を計画・実施することが求められている状況である。

そこで、今年度、海老名市教育委員会では、修学旅行における様々な課題を整理し、児童生徒や保護者にとって、望ましい修学旅行の在り方を検討するために、海老名市修学旅行検討委員会を設置し検討・協議を進めてきたところである。

本報告書は、児童生徒、保護者にアンケートを実施し、海老名市の修学旅行の実態を把握した上で、「今後の修学旅行の在り方」「修学旅行にかかる保護者負担軽減」について、検討委員会で検討・協議した結果を、提言としてまとめたものである。

# 1

# 海老名市修学旅行検討委員会について

## 1-1 検討委員会の目的

海老名市立小中学校における今後の修学旅行の在り方および修学旅行にかかる保護者負担経費について検討協議し、海老名市の方針を定めるための報告書を作成する。

## 1-2 検討委員会の構成

本検討委員会の構成員は次の13名である。

委員長	海老名市教育委員会教育部長	伊藤 修
委員	海老名市立杉本小学校長	加藤 秀夫
	海老名市立有馬中学校長	土屋 雄一
	海老名市立海老名小学校教頭	和田 波代
	海老名市立海西中学校教頭	麻生 仁
	海老名市立有鹿小学校総括教諭	山下 順也
	海老名市立海老名中学校総括教諭	藤木 裕史
	海老名市単位PTA会長代表	
	海老名市立小学校保護者代表	
	海老名市立中学校保護者代表	
	海老名市教育委員会教育部次長	萩原 明美
	海老名市教育委員会教育部参事兼教育支援課長	和田 修二
	海老名市教育委員会教育部就学支援課長	小林 丈記

## 1-3 検討の経過

本検討委員会は平成31年4月1日に発足し、計6回にわたって次の内容について協議を行った。

【第1回会議】平成31年4月23日（火）15時30分～16時50分

えびなこどもセンター201会議室

○海老名市修学旅行検討委員会設置要綱について

○修学旅行検討委員会のねらいについて

・今後の修学旅行の在り方に関すること

・修学旅行にかかる保護者負担経費に関すること

○小中学校修学旅行の現状について

○小中学校修学旅行の課題について

○1年間のスケジュールについて

○委員による意見交換

**【委員からの主な意見】**

- ・中学校は民泊型が多いが、各学校のねらいはどんなものか、各受け入れ先で差異が生じているのは気になる。
- ・中学校は子どもたちに学んでほしいことを検討して内容を決めている。
- ・修学旅行で歴史的なものを見られる機会を残してもらえるとうれしい。
- ・最終的に中学校の先生方がよいと思うものにしていただくのがよいと思う。個人的には、民泊先で差があるのは仕方ないと思う。
- ・小学校はずっと日光方面に行っていて、変更しようという動きは出ていない。
- ・小学校は1台の観光バスに乗車する児童数や、見学コースによって金額が大きく異なってくる。
- ・小学校は観光型なので、中学校はそれも踏まえて体験型にしていると感じた。

**【第2回会議】** 令和元年6月10日（月）15時30分～16時40分

えびなこどもセンター201 会議室

○旅行会社からのヒアリングについて

○中学校修学旅行アンケートの実施内容について

○委員による意見交換

**【委員からの主な意見】**

<中学校修学旅行アンケート>

- ・生徒のアンケートは、できるだけ選択形式にして、その他として記述方式を組み合わせた方がよい。
- ・アンケートで単に「楽しかったかどうか」だけでなく、各中学校の修学旅行の目的が達成できたかという、もう少し高度な内容でもよいと思う。
- ・中学校は修学旅行実施後に、課題や目的の達成度を総括してほしい。

<修学旅行実施後の保護者の所見>

- ・年配の夫婦のお宅に民泊して、畑で収穫し、すぐにそれを料理してもらえた。
- ・非常に優しく親切なもてなしを受けて、保護者としては顔も知らないが非常に感謝をした。
- ・行く前は、民泊は知らないお宅に子供を預けるため漠然とした不安があったが、組織的に受け入れをしてくれている場所はきちんとしているのだなと感じた。そうした点については、保護者が知らない事も多いため、しっかりと説明をしてくれればと思った。

- ・以前に、歴史的な見学も必要であると意見したが、それはまた年齢を経てから行ってもよいかと考え直した。
- ・先生との交流が話題にならなかったため、その点はどうかと感じた。
- ・引率教員が大変なので、その負担が軽減されるとよいと思う。

【第3回会議】令和元年8月27日（火）15時30分～16時40分

えびなこどもセンター202 会議室

- 県内修学旅行の実施状況について
- 中学校修学旅行アンケート結果について
- 修学旅行の方向性について
- 委員による意見交換

【委員からの主な意見】

＜中学校修学旅行アンケート結果から＞

- ・民泊型は、地元とのふれあい、郷土に触れることができる。
- ・修学旅行の内容は生徒達が決めたことではないので、選べない現状については、何かしら叶えてあげられるところがあってもいいと考える。
- ・民泊の状況が、ただ泊まるだけなのか、共同生活をするのか、詳細が分からない部分はある。各学校のねらいに合っていれば良いと思う。
- ・帰ってきた感想を聞くと、やはり民泊の楽しさが多く書かれていた。考え方も当時と今では異なるので、検討する時期にきていると感じる。
- ・保護者への伝え方が難しいと感じた。生徒は満足していることが多いので、保護者からの直接的な意見を見て、伝え方が大切と感じた。
- ・保護者へ「民泊型」の良さが伝わっていないので、丁寧な説明が必要だと思う。
- ・アンケート結果の保護者意見を見ると、普段周囲の保護者から耳にする意見が、そのまま書いてある。事前に民泊にする意義とか、説明などが保護者に無かったと思う。学校としても、民泊をしていくことの意義が大きいのであれば、説明してほしい。
- ・金額については、事前に内訳が無かったため、内容がわからず民泊なのに高いという意見があった。
- ・自分の頃は観光が主であったが、観光だと受け身になってしまい、自分の中に入ってこない。民泊の場合、生徒自身から各民泊先に対し色々と準備していたようで、それが満足感につながったと思う。
- ・コミュニケーションをとることの大切さが、修学旅行の目的であることの意味が保護者に伝わればよい。各家庭による受け止め方の違いは、どうにかなるとよいと思う。そこだけクリアすれば民泊は楽しいのではないかな。
- ・アンケート結果を見るに、生徒は高い満足度を示している一方で、保護者は民泊先での公平感、農業体験に対して疑問があり、熱中症、アレル

ギー等の不安感もある。保護者への説明責任をしっかりと果たし、ねらいを伝える必要がある。また先生の願う体験、生徒の願う体験、保護者が願う体験それぞれにずれが生じている。

- ・今の生徒の保護者自身が、民泊体験をしていない。
- ・生徒が将来海外旅行やホテル宿泊等は可能であるが、個人で民泊体験はできない。それゆえ、修学旅行でそれができるのならば貴重な体験となる。

【第4回会議】令和元年10月15日（火）15時30分～16時40分

えびなこどもセンター201 会議室

- 修学旅行検討委員会からの提言（案）について
- 小学校修学旅行アンケートの実施について
- 保護者負担軽減の方向性について
- 委員による意見交換

【委員からの主な意見】

< 修学旅行検討委員会からの提言（案） >

- ・中学校修学旅行について、「計画の作成に当たって」とあるが、実際に中学1年生の秋には決定するため、時期的に中学入学と同時に計画を作成するのは無理であるため、行動計画に関してというような表現に変えて誤解の無いようにした方が良い。
- ・小学校の修学旅行についても、計画作成というのは児童には難しいと思われる。目的地が決定して、その中で実行委員を決め、どういう風に活動するかというような意見等の吸い上げは行いたい。
- ・中学校の修学旅行説明会は、概ね2年生4月時の学年保護者会で行われ、さらに細案を3年生で伝えている。もし説明を強化するとなれば、お知らせやPTA役員会等での周知であろうが、参加するかどうか懸念がある。
- ・小学校の修学旅行説明会は、授業参観に合わせて行う場合が多く、説明内容は日程や持ち物の確認が主であり、修学旅行自体のねらいや目的は形骸化している感じがある。
- ・旅行目的地で災害が発生した時、実施しない場合に莫大なキャンセル料が発生するため、その補填ができるような保険加入を検討してほしい。
- ・自然災害等に適切に対応することは、修学旅行目的地現地に行った状況であれば当然のことであるが、事前に不測の事態に対して適切な対応というのは難しいと思われる。
- ・民泊を受け入れる家庭の差は仕方のないことであると思うが、体験の差は形として残るため、その差異は小さなものとして欲しい。
- ・民泊体験という表現が適切でなく、民泊型体験とするか、民泊を実施するというような表現が良いと感じる。また熱意のある受け入れ先に対



して、制限をかけるような形になっては本末転倒であると考えてる。

- ・食物アレルギー等に関する個々の児童生徒への対応は、非常に大きな問題でもあるため、民泊に限らず大項目として掲げてよいのではないかな。

【第5回会議】令和元年11月29日（金）15時30分～16時40分

えびなこどもセンター201 会議室

- 小学校修学旅行アンケート結果について
- 修学旅行検討委員会からの提言（案）について
- 委員による意見交換

【委員からの主な意見】

<小学校修学旅行アンケート結果>

- ・負担軽減により質が低下するのはどうかと思った。
- ・修学旅行では、文化財を見てもらいたいと感じた。
- ・市から補助してもらえる状況であれば、質を向上させるチャンスだなと感じた。
- ・価格の抑制の方法には賛成だが、早い予約が必要なため、難しいのではないかな。
- ・2日目の江戸村でのミールクーポン等に不満がある親がいると感じた。
- ・お小遣いが少ないという意見が多いのに驚いた。ただし、日光江戸村の昼食代は高い。ミールクーポンは子どもたちそれぞれの計画によるものなので、当日計画どおりにならない部分もある。

<修学旅行検討委員会からの提言（案）について>

- ・活動計画作成に保護者の意見を取り入れることは難しいので、児童生徒の意見をできるだけ取り入れると修正したい。
- ・「民泊先民家」という表現ではなく、「民泊先」と修正したい。
- ・小学校のプロポーザル方式については、透明性、公平性を保つために今後研究が必要と考える。
- ・全小学校で一斉に競争入札は難しい。一部の小学校で試行的に競争入札としたい。
- ・小学校修学旅行で競争入札することは可能だが、質的低下の部分ではバスが心配。一番金額で左右されると思われる。
- ・価格抑制については、安全面等をしっかりと考慮して、判断していくべき。
- ・契約の透明性・公平性は求めていかななくてはならない。
- ・小学校で宿泊先を押さえるが、その時点で旅行会社は決まっている。
- ・うちの小学校は、3社見積りで同じ旅行会社との馴れ合いにならないように、次年度は別の旅行会社で実施する。
- ・中学校では実際にプロポーザル方式で行っている。3社それぞれ20分

のプレゼンを行っている。これは中学校では当たり前となっている。

- ・ 中学校は民泊体験もあり、競争入札はそぐわない。教職員とのやり取りや細かいところまで確認するので、安いという部分だけでは競争入札は難しい。
- ・ 2回延期の場合はキャンセル料が必要になる。その場合、実際に修学旅行に行っていないのに保護者はお金を支払わなければならない。今後、市としての保険加入を考えていきたい。

#### 【第6回会議】

※開催中止（新型コロナウイルス感染症対策の影響）のため  
各委員からの意見聴取による報告書作成

## 2

## 小中学校修学旅行の現状と課題

## 2-1 小中学校修学旅行の現状

令和元年度の海老名市立小中学校の修学旅行の概要は次のとおりである。

## ■小学校■

対象学年：全 13 小学校ともに第 6 学年児童

実施時期：全 13 小学校ともに 2 学期

宿泊日程：全 13 小学校ともに 1 泊 2 日

旅行先：全 13 小学校ともに栃木県日光方面

宿泊形態：全 13 小学校ともにホテル又は旅館泊

旅行費用：平均額 21,825 円

学校名	実施日	参加児童数	主な行程
海老名小学校	10/7~8	136 名	(1 日目) 日光東照宮－華厳の滝－戰場ヶ原－湯滝 (2 日目) 日光江戸村
柏ヶ谷小学校	10/15~16	77 名	(1 日目) 日光江戸村－日光東照宮 (2 日目) 華厳の滝－竜頭の滝－湯滝－丸沼高原
有鹿小学校	10/8~9	87 名	(1 日目) 日光江戸村－日光東照宮 (2 日目) 華厳の滝－湯滝－湯元源泉－丸沼高原
有馬小学校	10/16~17	48 名	(1 日目) 日光東照宮－竜頭の滝－湯滝 (2 日目) 華厳の滝－日光江戸村
大谷小学校	10/9~10	95 名	(1 日目) 日光東照宮－竜頭の滝－湯滝 (2 日目) 華厳の滝－日光江戸村
上星小学校	10/16~17	113 名	(1 日目) 原田農園－華厳の滝－日光東照宮 (2 日目) 日光江戸村
中新田小学校	9/11~12	83 名	(1 日目) 丸沼高原－湯滝－戰場ヶ原－華厳の滝 (2 日目) 日光東照宮－日光江戸村
門沢橋小学校	11/11~12	94 名	(1 日目) 日光東照宮－華厳の滝－戰場ヶ原－湯滝 (2 日目) 日光江戸村
東柏ヶ谷小学校	11/21~22	80 名	(1 日目) 日光東照宮－戰場ヶ原－湯滝 (2 日目) 華厳の滝－日光江戸村
社家小学校	10/18~19	75 名	(1 日目) 日光東照宮－華厳の滝－三本松－湯滝 (2 日目) 日光江戸村
杉久保小学校	10/4~5	106 名	(1 日目) 日光東照宮－竜頭の滝－三本松－湯滝 (2 日目) 華厳の滝－日光江戸村
今泉小学校	10/14~15	106 名	(1 日目) 竜頭の滝－華厳の滝－戰場ヶ原－湯滝 (2 日目) 日光東照宮－日光江戸村
杉本小学校	10/3~4	89 名	(1 日目) 日光東照宮－竜頭の滝－湯滝 (2 日目) 華厳の滝－日光江戸村

(※) 門沢橋小学校と東柏ヶ谷小学校は、台風のため 11 月に延期して実施した。

## ●中学校●

対象学年：全6中学校ともに第3学年生徒

実施時期：全6中学校ともに1学期

宿泊日程：全6中学校ともに2泊3日

旅行先：各中学校により異なる

宿泊形態：ホテル又は旅館泊1校、民泊5校

旅行費用：平均額 53,540円

学校名	実施日	参加生徒数	主な行程
海老名中学校	6/9～11	171名	(1日目) 海老名駅－新横浜駅－京都駅－(自主行動)－宿泊地(ホテル)着 (2日目) 宿泊地発－東大寺大仏殿－(自主行動)－宿泊地(旅館)着－大江能楽堂 (3日目) 宿泊地(旅館)発－(自主行動)－京都駅－小田原駅－海老名駅
有馬中学校	6/3～5	201名	(1日目) 海老名駅－新横浜駅－広島駅－平和記念公園－広島港－江田島港－民泊先着 (2日目) 民泊(家業体験) (3日目) 民泊先発－江田島港－宮島港－厳島神社(自主行動)－宮島港－宮島口駅－広島駅－新横浜駅－バスで学校付近へ
海西中学校	6/1～3	146名	(1日目) 東京駅－郡山駅－猪苗代湖地ビール館－五色沼－喜多方村、南会津村－民泊先着 (2日目) 民泊体験 (3日目) 鶴ヶ城－郡山駅－東京駅－バスで学校へ
柏ヶ谷中学校	6/7～9	247名	(1日目) 新横浜駅－広島駅－原爆ドーム－平和記念公園－安芸太田町、北広島町－民泊先着 (2日目) 民泊(農業体験) (3日目) 民泊先発－安芸太田町、北広島町－バスで宮島口へ－宮島内へフェリーで－(自主行動)－バスで広島空港へ－羽田空港
大谷中学校	5/17～19	185名	(1日目) 小田原駅－京都駅－(自主行動)－甲賀市－民泊先着 (2日目) 民泊体験 (3日目) 民泊先発－バスで名古屋駅へ－小田原駅－バスで海老名SA
今泉中学校	6/1～3	152名	(1日目) 東京駅－二戸駅－バスで南部町へ－民泊先着 (2日目) 民泊体験 (3日目) 民泊先発－南部町ふれあい交流プラザ－八食センター－八戸駅－東京駅－バスで学校付近へ

## 2-2 小中学校修学旅行のアンケート調査結果

修学旅行の実態を把握し、よりよい修学旅行の在り方を検討するために、全小中学校において令和元年度修学旅行実施後に次のアンケート調査を行った。

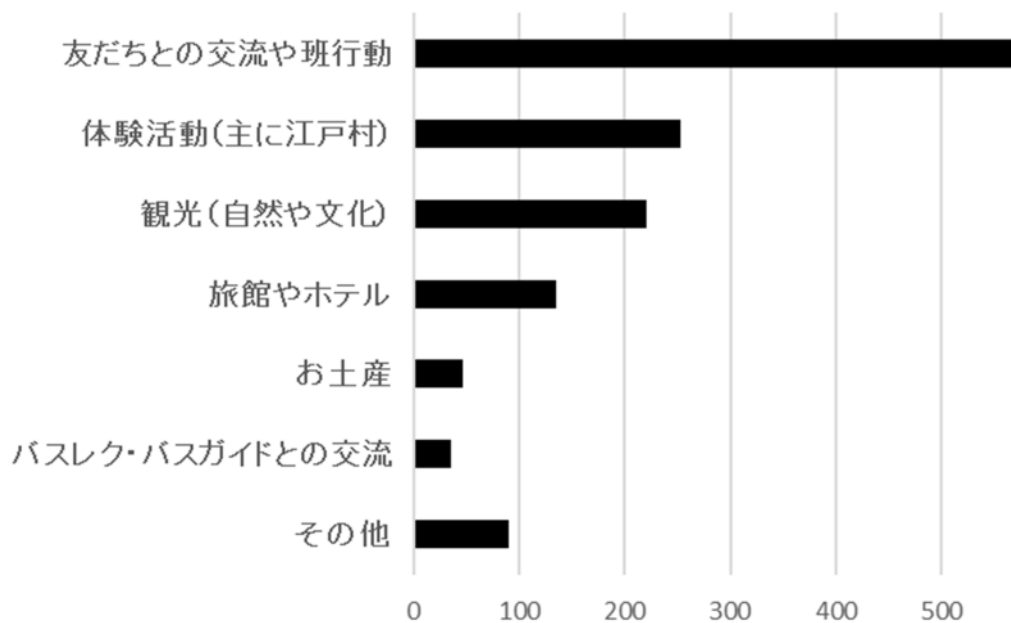
### (1) ■小学校■ 参加児童に対する調査

《調査時期》	令和元年10月下旬（延期した学校は12月上旬）
《調査対象》	市内小学校第6学年児童
《調査方法》	アンケート用紙に記入（無記名）
《回収数》	1,144名
《回収率》	100%

NO	質問	結果										
1	事前の学習を活かすことができた。	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>53%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思う</td><td>39%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思わない</td><td>6%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>2%</td></tr> </table>	回答	割合	そう思う	53%	どちらかといえば そう思う	39%	どちらかといえば そう思わない	6%	そう思わない	2%
回答	割合											
そう思う	53%											
どちらかといえば そう思う	39%											
どちらかといえば そう思わない	6%											
そう思わない	2%											
2	豊かな自然や文化に触れることができた。	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>84%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思う</td><td>14%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思わない</td><td>2%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>0%</td></tr> </table>	回答	割合	そう思う	84%	どちらかといえば そう思う	14%	どちらかといえば そう思わない	2%	そう思わない	0%
回答	割合											
そう思う	84%											
どちらかといえば そう思う	14%											
どちらかといえば そう思わない	2%											
そう思わない	0%											
3	友だちと友情を深めることができた。	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>77%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思う</td><td>18%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば そう思わない</td><td>4%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>1%</td></tr> </table>	回答	割合	そう思う	77%	どちらかといえば そう思う	18%	どちらかといえば そう思わない	4%	そう思わない	1%
回答	割合											
そう思う	77%											
どちらかといえば そう思う	18%											
どちらかといえば そう思わない	4%											
そう思わない	1%											

4	旅行先で出会った人と交流を深めることができた。	<p>そう思わない 9%</p> <p>どちらかといえば そう思わない 21%</p> <p>そう思う 27%</p> <p>どちらかといえば そう思う 43%</p>
5	貴重な体験活動をする事ができた。	<p>そう思わない 0%</p> <p>どちらかといえば そう思わない 1%</p> <p>どちらかといえば そう思う 11%</p> <p>そう思う 88%</p>
6	楽しい思い出をつくる事ができた。	<p>そう思わない 0%</p> <p>どちらかといえば そう思わない 1%</p> <p>どちらかといえば そう思う 8%</p> <p>そう思う 91%</p>

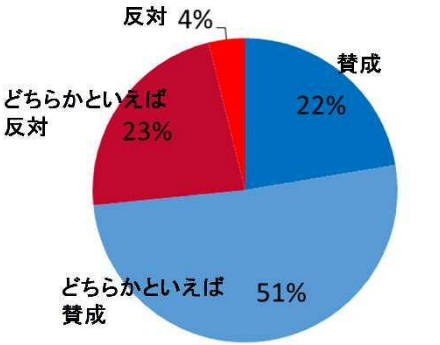
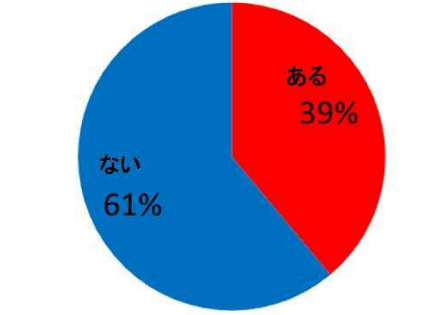
【質問6】「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の理由（横軸：人数）



## (2) ■小学校■ 保護者に対する調査

《調査時期》 令和元年 11 月上旬～  
 《調査対象》 市内小学校第 6 学年児童の保護者  
 《調査方法》 市教育委員会からの学校メールへの返信（無記名）  
 《回収数》 519 名  
 《回収率》 45.4% ※回収数/対象児童数で算出

NO	質問	結果
1	お子さんは楽しい思い出をつくることができましたと思いますか。	<p>                 どちらかといえば そう思わない                  そう思わない 1% 0%                  11%                  どちらかといえば                  そう思う                  そう思う                  88%             </p>
2	教育的観点から有意義であったと思いますか。	<p>                 どちらかといえば そう思わない                  そう思わない 1% 0%                  28%                  どちらかといえば                  そう思う                  そう思う                  71%             </p>
3	令和元年度より市が修学旅行費用に対して補助金(10,000円)を交付しましたが、修学旅行の費用について負担を感じますか。	<p>                 感じる                  8%                  24%                  感じる                  29%                  どちらかといえば                  感じる                  29%                  どちらかといえば                  感じない                  39%                  感じない                  24%             </p>

4	<p>修学旅行について、価格抑制方法の検討を行うことについて、どのようにお考えですか。</p>	
5	<p>今後の修学旅行に向けて、ご意見やご提言はありますか。</p>	

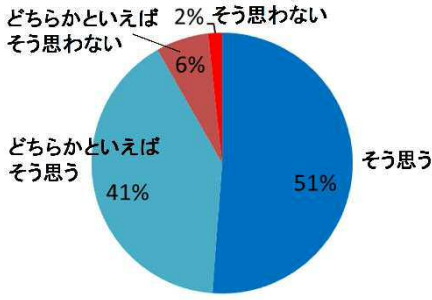
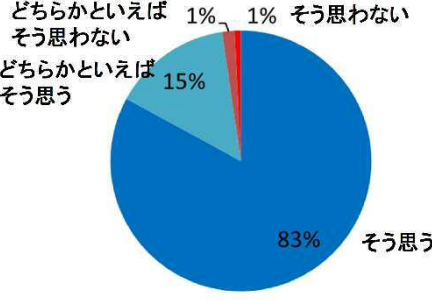
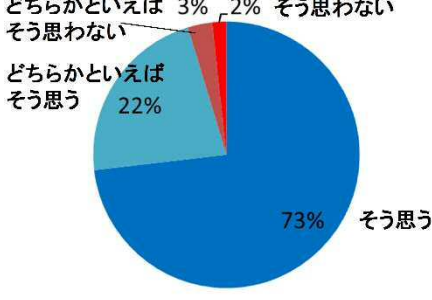
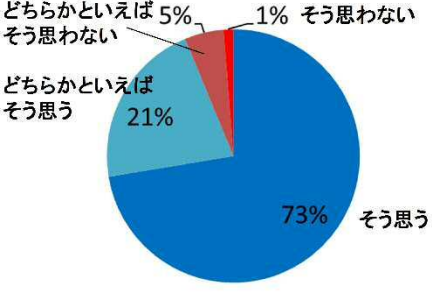
【質問5】「ある」と回答した主な意見

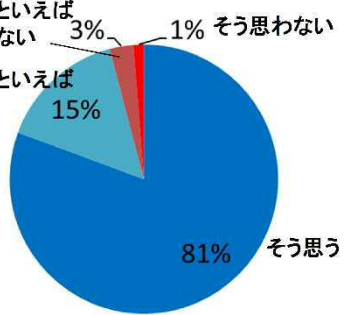
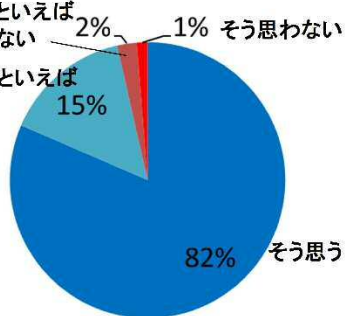
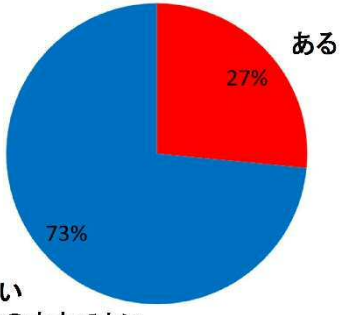
- 旅行日程や内容について検討してほしい。  
(例：お小遣いの金額、自由時間、1日目の集合時刻、持ち物等)
- 市からの補助金交付はありがたい。
- 価格抑制による質の低下を懸念している。
- 2泊3日で実施したい。
- 先生方へ感謝したい。
- 安全面に配慮（台風接近や大雨への対応）が必要である。

(3) ■中学校■ 参加生徒に対する調査

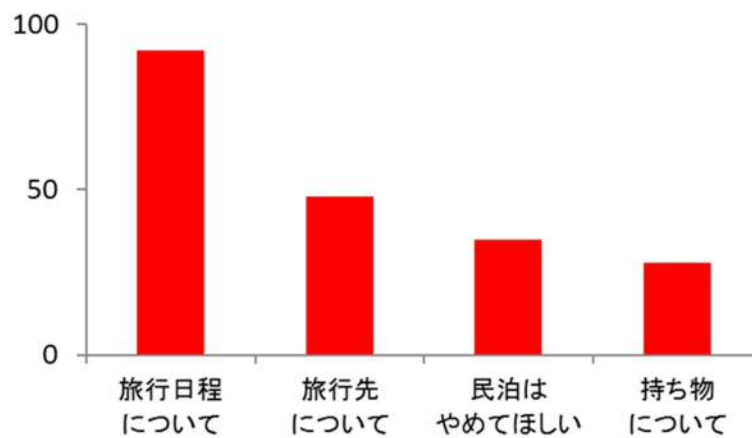
- 《調査時期》 令和元年7月中旬
- 《調査対象》 市内中学校第3学年生徒
- 《調査方法》 アンケート用紙に記入（無記名）
- 《回収数》 1,048名
- 《回収率》 100%



NO	質問	結果
1	事前の学習を活かすことができた。	 <p>       どちらかといえば 2% そう思わない        どちらかといえば 6%        どちらかといえば 41%        51% そう思う     </p>
2	豊かな自然や文化に触れることができた。	 <p>       どちらかといえば 1% 1% そう思わない        どちらかといえば 15%        83% そう思う     </p>
3	友だちと友情を深めることができた。	 <p>       どちらかといえば 3% 2% そう思わない        どちらかといえば 22%        73% そう思う     </p>
4	旅行先で出会った人と交流を深めることができた。	 <p>       どちらかといえば 5% 1% そう思わない        どちらかといえば 21%        73% そう思う     </p>

5	貴重な体験活動をすることができた。	 <p>どちらかといえば そう思わない 3%</p> <p>1% そう思わない</p> <p>15% どちらかといえば そう思う</p> <p>81% そう思う</p>
6	楽しい思い出をつくることができた。	 <p>どちらかといえば そう思わない 2%</p> <p>1% そう思わない</p> <p>15% どちらかといえば そう思う</p> <p>82% そう思う</p>
7	今後の修学旅行に向けて、旅行先や旅行内容について、ご意見やご提言がありますか。	 <p>ある 27%</p> <p>73% ない 今のままでよい</p>

【質問7】「ある」と回答した内容の分類（縦軸：人数）

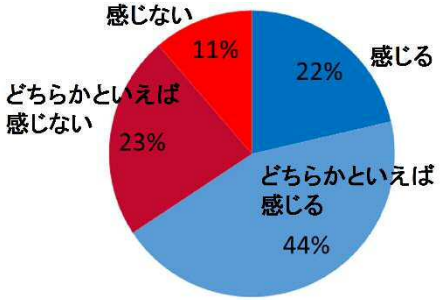
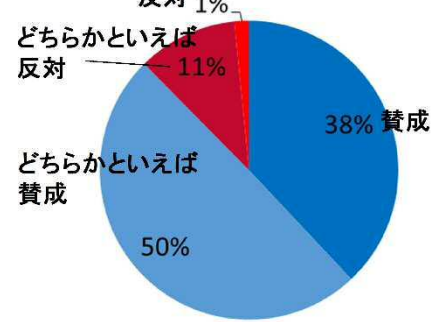
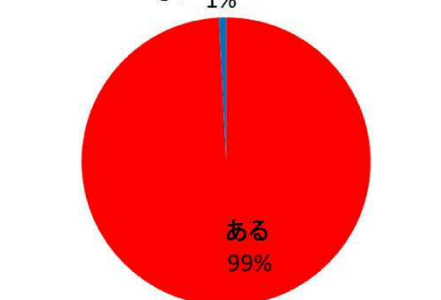


- 「旅行日程について」の主な意見
  - ・自由時間が少ない。
  - ・観光する時間が短い。
- 「旅行先について」の主な意見
  - ・異なる場所に行きたい。
- 「民泊はやめてほしい。」の主な意見
  - ・みんなでホテルに泊まりたい。
  - ・体験に差がある。
- 「持ち物について」の主な意見
  - ・スマホを持っていきたい。

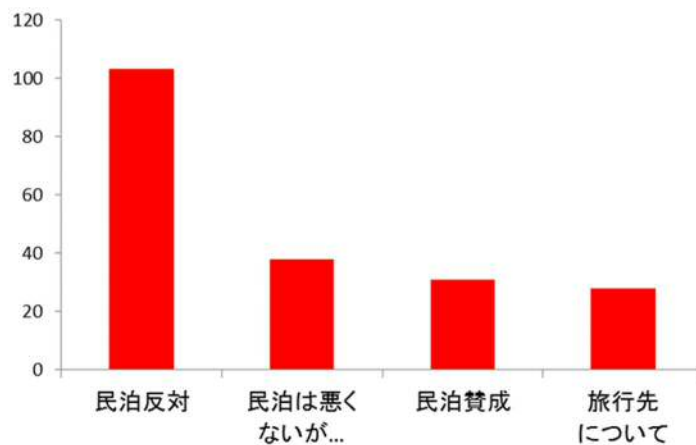
#### (4) ■中学校■ 保護者に対する調査

《調査時期》 令和元年7月下旬～8月上旬  
 《調査対象》 市内中学校第3学年生徒の保護者  
 《調査方法》 市教育委員会からの学校メールへの返信（無記名）  
 《回収数》 379名  
 《回収率》 25.6% ※回収数/対象生徒数で算出

NO	質問	結果
1	お子さんは楽しい思い出をつくることができましたと思いますか。	<p>           どちらかといえば そう思わない 6%            5% そう思わない            どちらかといえば そう思う 31%            そう思う 58%         </p>
2	教育的観点から有意義であったと思いますか。	<p>           そう思わない            どちらかといえば そう思わない 10%            5%            そう思う 46%            どちらかといえば そう思う 39%         </p>

3	令和元年度より市が修学旅行費用に対して補助金（15,000円）を交付しましたが、修学旅行の費用について負担を感じますか。	 <p>感じる 22%</p> <p>どちらかといえば感じる 44%</p> <p>どちらかといえば感じない 23%</p> <p>感じない 11%</p>
4	修学旅行について、価格抑制方法の検討を行うことについて、どのようにお考えですか。	 <p>賛成 38%</p> <p>どちらかといえば賛成 50%</p> <p>反対 11%</p> <p>どちらかといえば反対 1%</p>
5	今後の修学旅行に向けて、ご意見やご提言はありますか。	 <p>ある 99%</p> <p>ない 1%</p>

【質問5】「ある」と回答した内容の分類（縦軸：人数）



- 「民泊反対」の主な意見
  - ・ 民泊先で体験等に差がある。
  - ・ 修学旅行で民泊体験をする必要性を感じない。
  - ・ 自然災害時、急病、アレルギー等に対応できない。
- 「民泊は悪くないが…」の主な意見
  - ・ 1泊はホテルに泊ませたい。
  - ・ みんなで共有の思い出がもっとあってよい。
- 「民泊賛成」の主な意見
  - ・ 貴重な体験をさせてもらった。
  - ・ 民泊先の家族とよい交流ができた。
- 「旅行先について」の主な意見
  - ・ 異なる場所に行きたい。

## 2-3 旅行業者からのヒアリング内容

- 海老名市の中学校修学旅行は県内でも最先端（特徴的）で、各校で独自に行程を組み、民泊型や体験学習を多く取り入れている。
- 他市町村の中学校修学旅行の現状については、修学旅行列車を利用している場合は、9割が旅館・ホテル泊の観光型である。
- 中学校修学旅行を民泊型で実施する場合は、東北の震災体験を活動内容に取り入れる学校が多い。
- 民泊型で実施する場合は、修学旅行先として適切であるかは必ず確認をしておき、受入れ先の自治体が民泊受け入れをバックアップしていることが多い。
- 修学旅行期間の宿泊先を京都方面へ変更することは、大手旅行会社が占有していることに加え、外国人観光客から人気があり混雑しているため、これから旅行先の対象にすることは困難な状況にある。
- 小学校修学旅行は全校とも日光方面なので、一括契約によって価格を抑制することは条件によっては可能である。その条件としては、同一の行程、同一のバス会社、同一の宿泊先などであり、現実には各小学校が希望する日程や行程があるため難しい状況にある。また、価格を抑制することによってサービス低下等のデメリットも加わることも考慮する必要がある。
- 小学校修学旅行を一括入札する場合は、宿泊先が決定されていることを前提にしても1年ほど前でないと厳しい。
- 小学校修学旅行の場合、6月頃に実施しても価格的には安くない。日光は5～6月、また9～10月はどちらもピーク時期にあたる。
- 修学旅行を入札によって行っている自治体は、詳しく調査していないためわからないが、首都圏内では聞いたことがない。

## 2-4 小中学校修学旅行における課題

修学旅行検討委員会委員の意見交換や児童生徒および保護者からのアンケート調査の結果から課題を抽出し、次のように整理した。

### 1 保護者が修学旅行のねらい等を十分に理解できていないこと

保護者に対して、事前に修学旅行の目的やねらい、日程や活動内容、旅行費用などについて、十分な説明や周知を行う必要がある。特に、民泊型修学旅行を実施する場合には、学校からの丁寧な説明が必要になる。

### 2 修学旅行費用は保護者にとって経済的な負担があること

修学旅行費用については令和元年度よりその一部（小学6年生保護者に10,000円、中学3年生保護者に15,000円）を補助しているものの、保護者の経済的な負担を考慮して、安全面等の質的低下を招かずに価格抑制に努める必要がある。

### 3 修学旅行の活動内容に差が生じていること

民泊型修学旅行の場合、民泊先によって体験活動や滞在中の生活に差が生じているという現状がある。

### 4 活動内容が形骸化していること

各校の修学旅行の目的やねらいを明確にして、児童生徒が自主的・実践的に活動できるように、活動内容を見直し、さらなる創意工夫をしていく必要がある。

### 5 安全面や健康面に対応すること

旅行先での自然災害や事故等が発生した場合、食物アレルギーのある児童生徒がいる場合等について、適切に対応する必要がある。

## 3

# 小中学校修学旅行についての提言

修学旅行は、各学校が編成する教育課程内の学習活動であり、学習のねらいや旅行内容については、各学校が責任をもって策定しているものの、前述のようにいくつかの課題がみられているところである。

本検討委員会では、これらの課題や望ましい修学旅行について、多面的な資料や情報をもとに協議を重ねてきた。

これまでの協議内容を踏まえ、これからのよりよい修学旅行の実施に向けて、次の2点について提言する。

### 3-1 【提言①】 今後の修学旅行の在り方について

- ◇ 学校は、保護者に対して、事前に修学旅行の目的やねらい、日程や活動内容、経費などについて十分に周知するために、説明会を開催するなどして説明責任を果たす。
- ◇ 学校は、児童生徒に対して、事前に修学旅行の目的やねらい、日程や活動内容などについて十分に説明および指導し、児童生徒の参加意欲を高めるよう努める。
- ◇ 学校は、活動計画を作成するに当たって、児童生徒が主体的に活動できるよう、児童生徒の意見をできるだけ取り入れることを検討するとともに、旅行先でしか体験できない教育活動を豊富に取り入れるよう工夫する。
- ◇ 学校が民泊型修学旅行を実施する場合には、以下の点について留意する。
  - ・民泊先での体験活動等に大きな差が生じないように配慮すること。
  - ・民泊先の安全・衛生面については、必要に応じて配慮すること。
- ◇ 学校は、事故防止のための万全の配慮をして、児童生徒の安全を最優先とし、自然災害などの不測の事態にも対応できるように、避難の手順や連絡体制を整えておく。
- ◇ 学校は、食物アレルギー等に関する個々の児童生徒の健康状態を把握し、適切に対応する。



### 3-2 【提言②】 修学旅行にかかる保護者負担経費について

- ◇ 今年度（令和元年度）、市から修学旅行に参加した児童生徒の保護者に交付された補助金（小学校修学旅行に 10,000 円、中学校修学旅行に 15,000 円）は、保護者負担を大きく軽減するものであり、今後も継続していくことを期待したい。
- ◇ 一部の小学校において、試行的に競争入札<sup>(※1)</sup>により旅行業者を選定し、契約における透明性や公平性を確保するとともに、修学旅行費用を抑制した修学旅行の実情について検証する。  
この検証結果を踏まえ、今後の修学旅行費用を抑制する競争入札の方法について研究していく。  
ただし、競争入札による旅行業者の選定にあたっては、質的低下を招くことがないように十分に配慮する。
- ◇ 中学校においては、プロポーザル方式<sup>(※2)</sup>により旅行業者を選定し、契約における透明性や公平性を確保する。  
その際に、修学旅行の目的や内容、安全対策等を優先事項としながら、修学旅行費用の設定についても十分に配慮する。
- ◇ 市が学校旅行中止費用保険<sup>(※3)</sup>に加入することを検討していく。

(※1) 競争入札とは、請負契約等において最も有利な条件を示す者と契約を締結するために複数の契約希望者に内容や入札金額を書いた文書等を提出させて、内容や金額から契約者を決める方法。競争入札によらずに行う契約を随意契約という。

(※2) プロポーザル方式とは、主に業務の委託先等を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。「プロポーザル」は「企画、提案」の意味。

(※3) 学校旅行中止費用保険とは、修学旅行等の学校旅行が、不測かつ突発的な事由により中止または延期となった場合に、中止費用（旅行準備のためにすでに支出していた費用）等に対して保険金を支払う保険のこと

## おわりに

海老名市立小中学校の修学旅行については、これまでも継続的に実施されてきており、子どもたちが大人になっても、小中学校時代の思い出として心に残る大切な学校行事である。

また、修学旅行は、校外における集団生活によって、よりよい人間関係を育むための貴重な機会であり、教育的な意義や高い教育効果が期待される学校行事でもある。

本報告書は、修学旅行検討委員会において、今後のさらなる「よりよい修学旅行の在り方」について、現在の修学旅行の状況から課題を抽出し、学校、保護者、市教育委員会のそれぞれの立場で協議してきた結果をまとめたものである。

今後は、本報告書の周知を十分に行い、海老名市立小中学校において、修学旅行の在り方について再考し、協議しながら、今後の「よりよい修学旅行」が実施されることを期待するところである。

【お問合せ先】

海老名市教育委員会教育支援課